

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)精華交流センターの施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)精華交流センターの使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業及び児童館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)＝(R6度実績)÷(R3度～R5度実績平均値) 大ホール：63.7% (平均値比115.0％＝63.7％÷55.4%) 研修室：61.0% (平均値比113.8％＝61.0％÷53.6％) 会議室：42.2% (平均値比102.0％＝42.2％÷41.4％) 和室(東)：38.4% (平均値比131.5％＝38.4％÷29.2%) 和室(西)：34.4% (平均値比124.6％＝34.4％÷27.6％) 多目的実習室：47.8% (平均値比126.1％＝47.8％÷37.9%) ※児童センター該当なし	5点		
				平均値比(117%)=利用率(47.9%)÷40.8% (上記②適用)							
		②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)＝(R6度実績)÷(R3度～R5度実績平均値) 【公民館】 大ホール：22,206人 (平均値比123％＝22,206人 ÷ 18,049 人) 研修室：11,620人 (平均値比115％＝11,620 人 ÷10,062人) 会議室：4,251人 (平均値比111％＝4,251人 ÷ 3,828 人) 和室(東)：2,838人 (平均値比117％＝2,838人 ÷ 2,423人) 和室(西)：2,668人 (平均値比117％＝2,668人 ÷2,273人) 多目的実習室：6,625人 (平均値比150％＝6,625 人 ÷4,414 人) 遊戯室：676人 (平均値比66％＝676人 ÷1,018人) 図書貸出：1,842人 (平均値比101％=1,842 ÷ 1,817人) 【児童館】15,879人(平均値比105%=15,879人÷15,128人) 公民館:5点 児童館:5点 総合点:5点 ※点数の比率は[公民館1:児童館1]	5点			
			【公民館】平均値比(120%)=利用人数(延べ52,726人)÷43,937人(上記②適用) 【児童館】平均値比(105%)=利用人数(延べ15,128人)÷15,128人 (上記②適用)								
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P106～112 【公民館】 ①精華校区まちづくり市民会議連携事業(11回1,873人) ②ラジオ体操だよ！全員集合(19回977人) ③筋力アップ体操(10回175人) ④活性化委員事業(2回175人) 【児童館】 ①乳幼児と保護者を対象とした事業(36回921人) ②児童を対象とした事業(78回427人) ③地域交流・多世代間交流(37回4,210人) ④中高生事業(55回130人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(15回128人)	仕様書以上 13点	【公民館】 ①交流センターまつりは、利用団体が日頃の成果を発揮できる機会、また交流の場として満足してもらえるよう、職員が企画から運営までをしっかりとフォローして取り組まれている。 ②交流センター5周年記念事業を企画。精華地区出身のプロピアニストを招聘し、地域に対して、質の高い一流の音楽に触れる機会を創出している。 ③精華校区まちづくり市民会議と連携を密にして、子どもたちに地域への愛着を持ってもらうための事業を多く実施している。 【児童館】 ①乳幼児クラブでは、参加者が多いため複合施設の特徴を生かして大ホールで実施し好評を得ている。 ②ボランティア活動では、交流センター事業やまちづくり市民会議連携事業に加え、遊戯室の手伝いを積極的に実施。参加者が小学生から高校生までいるため異年齢交流にもなっている。 ③小学生クラブのYummyクラブ(お料理クラブ)では、複合施設の利点である調理室を利用して実施している。毎回、好評で楽しみにしている児童が多い。 公民館:13点 児童館:13点(13.20点) 総合点:13点 ※点数の比率は[公民館1:児童館1]	13点			
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P106～112 【公民館】 ①おはようサロン(10回159人) ②自力整体で自然治癒力UP！(20回300人) ③折り紙サロン(12回96人) ④さわやか体操♪(20回118人) ⑤マイ醬油づくり(2回31人) ⑥市民のための健康講座(20人) ⑦コグニサイズで健康長寿(12回79人) ⑧精華ギャラリー(9回1,035人) ⑨VIVA！マナビバ！(37回79人) ⑩認知症サポーター養成講座(30人) 【児童館】 ①乳幼児と保護者を対象とした事業(58回674人) ②児童を対象とした事業(85回244人) ③地域交流・多世代間交流(40回2,171人) ④中高生事業(102回244人) ⑤子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(15回31人)	期待以上 13点	【公民館】 ①高齢者が気軽に集える場を念頭に置き、「おはようサロン」「折り紙サロン」「コグニサイズ」等健康に着目した事業を企画。認知症予防への意識向上につなげている。 ②「マイ醬油づくり」「おとなSDGs」はいずれも昨年度からの継続実施であり、ニーズを汲み取り、受講者や参加者を獲得している。 【児童館】 ①昨年度同様、ポーシャ先生とABCでは、乳幼児が遊びながら英会話が出来るため好評を得ている。また、大人向けのポーシャ先生とLet's Englishを乳幼児のレッスン後に行うことにより、参加者の増員に努めている。 ②地域の方と一緒に、夏休みにラジオ体操を実施し、多世代交流にも繋げている。 ③中高生向けにおしゃべりプレイスを実施している。雑談の中で悩みの相談を受けたり、参加者とディスカッションし居場所づくりに努めている。 公民館:13点 児童館:13点(13.20点) 総合点:13点 ※点数の比率は[公民館1:児童館1]	13点			
		(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P116 ①施設内清掃(毎日) ②特別清掃(年2回)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点		
②保守・点検	年次報告書P116 ①事業計画にある法定点検ほか必要な保守点検を実施		適正(普通) 2点			適正に実施されている。					
③保安・警備	年次報告書P116 ①開館時間の巡回警備、機械警備を実施 ②年間を通して安全な状態を維持。監視カメラの設置により警備体制を強化		適正(普通) 2点			適正に実施されている。					
④小規模修繕	年次報告書P117 ①有償修理 13件 634,161円		適正(普通) 2点			適正に実施されている。					
⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	年次報告書P117 ①開館前と夕方の1日に2回以上、施設周辺(屋根、壁、駐車場、フェンス、植木等)及び各部屋(床、壁、机、椅子、備品等)の安全確認を実施 ②安全性確保のためのチェックシートを活用し、施設の異常の早期発見を励行 ③雨天時に玄関付近の床タイルが滑りやすくなることへの注意喚起の看板を設置 ④隣接する上野公園の安全確認を毎日実施。異常箇所は速やかに市へ報告		適正(普通) 2点			適正に実施されている。					

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実 施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P118 ①市ファイリングシステムに準じて、文書を適正に保存、保管	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P118 ①近隣住民の要望による施設周辺の植木の剪定、草取り、溝掃除を毎月実施 ②全館清掃によりエアコンのフィルター掃除を年間2回実施 ③試し印刷用の紙や消毒用布巾は再利用し、廃棄物の減量を推進 ④扇風機や膝掛けの無料貸出や遮熱カーテンにより、来館者と協働で冷暖房機器の効率を上 げる省エネ対策の実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P118.119 ①正面玄関に車いすを配置。常に安心して利用できるよう定期点検を実施 ②車の乗降に介助が必要な場合は、職員が対応し安全な入退館に努めた。また乗降後に運 転手が駐車場へ車を回している間、介助者の補助を職員が支援 ③各部屋前の靴の履き替え場所に椅子を設置。安全に履き替えができるよう配慮 ④和室に座卓用椅子を設置。正座等が難しい方にも利用しやすい環境の整備 ⑤車椅子で来館する子ども用の車椅子を、遊戯室内に置けるようシートを常備 ⑥乳幼児室の床が硬く冷たいため、ホットカーペットを設置	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P118 ①消毒セットの貸出し、次亜塩素酸水の給水器による備品の消毒、清掃を実施 ②備品収納案内を各部屋の備品に貼付け、備品配置図の掲示により利便性を向上 ③多目的実習室の調理道具入れや食器棚に「写真入り収納ラベル」を取付け、備品管理簿に より管理 ④利用団体の備品は、写真つきの「預かり備品台帳」で管理 ⑤誰にでもわかりやすい表示で、利便性やスムーズな片付けの環境を整備 ⑥日常点検に加え貸出備品は返却後に必ず点検。不備には速やかに対応 ⑦図書は地域の図書ボランティアが毎月点検。修理等にも速やかに対応	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P118 ①個人情報に記載された資料とデータは、鍵のかかるキャビネットで保管 ②講座申込時にメディアの撮影・取材の可否を確認 ③不特定多数が共有する図書カードは、氏名ではなく番号のみ記載 ④児童館入退館受付簿は、先に記入した個人情報が見えないよう配慮	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故 等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1 点	年次報告書P119 ①事故なし。	事故なし・対応に不 備なし 0点	事故なし	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満 ～100%:4点、100%未満:3点	収入32,074,287円÷支出36,702,876円＝87%	100%未満 3点	【参考】令和2年度93%、3年度96%、4年度97%、5年度97%	3点
4	より良い施設運 営のための取 組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反 映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反 映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P120 ①講座の中止や日程変更等の連絡にビジネスラインツールを導入 ②利用者の利便性向上に向け備品整備や利用方法などを常に見直し ③児童館と公民館の広報誌の統一とペーパーレス化(WEBでの発信) ④図書室を利用して勉強する中学生向け「精♡Cafe」を設置。児童館閉館時間のみロビーで の飲食スペースを開放。 ⑤夏季の快適な利用のため、エアコンを利用10分前から稼働。次の利用が続く場合は稼働を 継続し、室温を保ち節電につなげた。	期待以上 9点	①「児童館だより」を「交流センター広報紙」に一元化し情報の重複を避けるとともに、児童用のタブレッ トへ配信し、メディアの多様化に努めている。 ②学習を目的に来館する中学生に対して飲食スペースを提供し、居場所づくりに努めている。 ③貸部屋用の備品の充実や利用開始前から空調を稼働する配慮など、利便性の向上に努めている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点 適正(普通):4点 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	慢性的な駐車場不足への対応として、利用者への事前周知に努めている。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上 記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15 点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P98.99.121.122.123 ①交流センターの役割として、多世代交流の推進と、地域に根差した事業、利用者のニーズに 対応した事業を展開 ②地域の文化活動の拠点を目指し、職員全員で意見を交わし、最大限の「利用しやすさ」を追 求 ③幼児親子が7割弱を占める児童館で中高生の利用が増加。児童館機能を活かした多世代 の交流を促進 ④利用者が声をかけやすく、利用しやすい体制で「即時対応」できるよう、窓口に常時職員を配 置。職員からの声掛けに心がけ、利用者・地域に寄り添う環境を整備 ⑤文化活動・子育て支援をサポートするための職員研修を随時実施・受講	期待以上 13点	①多世代交流の促進と精華地域に根差した事業の実施に努め、利用者の定着につなげている。 ②「利用者から声がかかる前に職員から声をかける」をモットーに、職員が一丸となって施設運営の改 善に努めている。 ③通年において、様々な行事の場で中高生の活躍が際立つ。児童から高齢者までの多世代交流の つなぎ役として、今後の活躍に期待する。 ④他の児童館では参加者が集まりづらい「乳幼児クラブ」に注力することで、保護者を含め乳幼児期か ら自然と児童館に足を運ぶことを促すとともに、中高生へと続くこどもの居場所づくりを積極的に推進し ている。	13点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・ 不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中 程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減 点なし	不備なし	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内 容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が 期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等 が期待どおり 減点 なし	指示等なし	0点
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計86点
						全体的な評価 ①市街地、住宅地の狭あいな地域にあり、近隣周辺への配慮に努めつつ、安心安全な施設運営がさ れている。 ②まちづくり市民会議との信頼関係、中高生ボランティアなどの人材との連携を大切にし、交流セン ターの役割が最大限に発揮されている。 ③単館とは異なる複合館の強みを生かした児童館事業等を積極的に推進している。			極めて良好